

体育科学習指導案

平成30年10月25日 5校時

6年1組 指導者 奈良 貢

場所 前橋市立上川淵小学校体育館

授業の視点

スポーツの一番伝えたい場面を強調して表現するために、スポーツニュースをイメージしながら動きの速度の変化や繰り返しの動きなどの工夫を取り入れたことは有効であったか。

I 単元名 スポーツニュース（表現運動）

II 単元の考察

1 運動の特性（教材観）

（1）一般的特性

表現運動とは、自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊る楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。特に表現は、身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現する楽しい運動である。それゆえ、運動を不得意としている児童でも、勝ち負けや記録にこだわらず、自分で動きを考えたり友達や教師の真似をしたりしながら積極的に取り組むことができる運動である。また、多様な題材から「素早く走る－急に止まる、ねじる－回る、跳ぶ－転がる」の動きで変化をつけたり繰り返して動いたり、「集まる－離れる、合わせて動く－自由に動く」など群の動きを工夫したりすることで、体を使った全身運動にもつながると考えられる。

（2）児童から見た特性

本単元の「スポーツニュース」は、生活の中で経験したり見たりしたことがあるスポーツや普段見ているテレビのスポーツニュース番組をもとに、表現を引き出そうとするものである。

本学級は体育好きな児童が多く、過半数以上が地域のスポーツクラブで活動しているなど、多くのスポーツを経験している。その一方、運動会のダンスとして花笠音頭やソーラン節を踊っているが、表現運動としての経験はほとんどない。そこで、子ども達が毎日の生活の中で経験したり、見たり、知ったりしているというスポーツを題材に設定することで、表現に対する抵抗感や苦手意識を取り除くとともに、経験を生かしてスポーツの特徴を捉えて表したい感じやイメージをスムーズに表現できるようになると考える。また、普段何気なくやっているスポーツでも、スポーツニュースにすることで、動きを誇張したり、場面に変化を付けたり、構成を工夫したりすることで、より豊かな表現力を養っていけると考える。さらに、一人一人が思い思いに動くだけでなく、教師や友達などの動きを真似して一緒に踊ったり、見せ合って互いに動きのよさを認め合ったりする活動を取り入れることで、表現の楽しさを実感させることができると考える。

2 児童の実態（男子20名女子14名 計34名）

本単元に関わる実態について、アンケートを行ったところ、次のような結果が出た。

【アンケート①：体育の授業は好きですか。】

体育の授業は好きですか	理由
好き(16人) どちらかという好き(13人)	運動することが好き 12人、できたり勝ったりするとうれしい 11人、楽しい 4人、気持ちが良い 2人、友達と協力できる 2人など
どちらかという嫌い(4人) 嫌い(1人)	できないものがある 3人、苦手だから 2人

【アンケート②：表現の授業と聞いたらどのようなイメージがありますか。】

組み立て 6人、ダンス 4人、体をおもいっきり動かす 4人、想像力が大事 4人、大変 2人、面白い 2人、そのものになりきる 1人、知っていないとできない 1人など

【アンケート③：体育の授業でできればえを見合うとき、どのような場面がやりやすいですか。(複数回答可)】

場面	理由
友達(個人) 同士 14人	アドバイスがもらえる、大勢だと緊張する、友達の真似をできる、意見を言いやすい
グループ 同士 22人	アドバイスがもらえる、大勢だと緊張する、グループで話合える・見合える、誰かとなら一生懸命できる
全体 4人	特にこだわりはない

【アンケート④ 表現の授業において次の場面で表してみたいものはどれですか。(選択式、複数回答可)】

スポーツ 23人、動物 22人、忍者 12人、乗り物 8人、ジャングル探検 5人、料理作り 5人、宇宙旅行 3人

【アンケート⑤ ④の題材を表現するとき、どのようなところを意識して行いますか。】

なりきる 6人、体を大きく使う 4人、真似をする 4人、体を動かす 3人、特徴を表す 3人、自分のイメージを大切に使う 3人、表情 2人など

①のアンケートの体育が『好き』という理由には、「体を動かすことが好き」「面白い」「気持ちが良い」「できると楽しい」が挙げられ、多くの児童が体を動かすことに楽しさや喜びを感じていることが伺える。一方で『どちらかという嫌い』『嫌い』と挙げた児童の理由は、「できないことやできることが少ない」「体の動かし方が分からない」と、できないことに苦手意識を感じていたり、体の動かし方に難しさを感じていたりする児童がたくさんいた。

②のアンケートからは、表現という運動会で行っている組み立てやダンスのイメージがとても強いことが分かる。実際には教師や見本の児童を見ながら、高学年の組み立てでは技のポイントを意識して体を動かしたり、中・低学年では音楽に合わせてリズム良く踊ることができていたりした。しかしその反面、「想像するのが難しい」「知っていないとできない」と、その特徴を捉えたり、イメージをして動かすことに難しさを感じていたりする児童も多い。⑤のアンケートでも、表現の授業の意識的なポイントとしては、「なりきる」「体を動かす」「全体を大きく使う」「表情を大切に使う」と体を使って表現する上で大切なことは分かっているものの、具体的にどう動かすまで理解しているとはいえない。

それゆえ、③や④のアンケートでも分かるように、子ども達がイメージしやすいスポーツを題材にしながら、教師や友達の真似をして多様な動きの良さを理解したり、グループ同士で見せ合いお互いの動きの良さを認め合ったりしながら、特徴を捉え、イメージを広げて踊ることの楽しさや仲間とともに互いの良さを生かし合って交流して踊る喜びを味わうことができるようにしていきたい。

3 教材の系統

低学年	中学年	高学年
表現リズム遊び	表現運動	表現運動
ア. 表現遊び (〇〇になりきろう。) イ. リズム遊び (運動会：花笠音頭)	ア. 表現 イ. リズムダンス (運動会：ソーラン節)	ア. 表現 イ. フォークダンス (マイムマイム・ジンギスカン・ ジェンカなど)

III 指導目標

- ①色々なスポーツの動きの特徴を捉え、表したい感じやイメージを強調しながら、ひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。
(知識及び技能)
- ②自己やグループの課題を見付けたり、課題に応じて動きを選んだり、表現で工夫した成果を他者に伝えたりすることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- ③「スポーツニュース」の表現に進んで取り組み、互いの動きのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

IV 評価基準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
○色々なスポーツの動きの特徴を捉え、表したい感じやイメージを強調しながら、ひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。	○自分やグループの課題に応じて、差のある動きや群の動きなどで変化を付けることができる。 ○表したい感じやイメージが表れている動きになっているかを個人やグループで見合いながら、課題を見付けたり、良くなったところを伝えたりすることができる。	○「スポーツニュース」の表したい感じを表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組もうとしている。 ○仲間と助け合ったり、お互いの動きや考えを認め合ったりしながら練習や発表をしようとしている。 ○運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。

V 指導方針

- ・事前に「スポーツ」から思い浮かぶスポーツ名や動きを模造紙に書くことによって、友達とイメージを共有できたり、動きの工夫につなげたりすることができるようにする。
- ・表現の約束を「笑顔を大切に！」「イメージを大切に、そのものになりきろう！」「大げさに、体を全部使って動かそう！」「友達とお互いの良さを認め合おう！」の四つとし、表現の学習では常に掲示しておくことによって、この四つの観点を常に意識しながら学習に取り組むことができるようにする。
- ・単元を通して、おもしろい動きや良い動きを見つけた時は称賛し、温かい雰囲気作りに努める。

- ・学習の流れを毎回同じ「ほくほくタイム（ウォームアップ）→本時のめあて→一緒にタイム（先生や友達と一緒に動く）→協力タイム（グループで動きを決めて工夫して動く）→発表タイム（グループで見せ合い）→本時のふりかえり」とすることで、単元を通して見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。
- ・ウォームアップの「ほくほくタイム」では、表現運動につながる「だるまさんが〇〇した」や「もうじゅうがりに行こうよ」などを行うことで、気持ちを解放して表現を楽しむ雰囲気を作ることができるようにする。
- ・「一緒にタイム」では最初に教師と一緒に踊ることで、教師の動きを真似しながら楽しく踊ったり、踊ることに対する抵抗感を和らげたりすることができるようにする。
- ・「一緒にタイム」の友達と一緒に踊る場面では、リーダーに続け方式で動きを交換していく活動を行うことによって、多様な動きを経験したり、動きのよさを実感したりできるようにする。
- ・動きを引き出す場面では「大きくー小さく、速くー遅く」で動きに差をつけたり、「素早く走るー急に止まる、ねじるー回る、跳ぶー転がる」などの動きで変化をつけたりするような言葉を教師が投げ掛けることで、体全体を使って大げさに動いたり、表した場面を強調して表現できたりすることができるようにする。
- ・「協力タイム」のグループで動きを決めて工夫して動く場面では、お互いの動きを見合い真似し合いながら特徴的な動きや印象的な動き、気に入った動きを見付けることができるようにする。中々グループで工夫した動きを見付けることができないグループには、場面をイメージするような声を掛けたり、動きの工夫をいくつか提示してその中から選んだりできるような支援を行う。
- ・「発表タイム」では見せ合う前に、見る観点（本時のめあて）を全体で確認することによって、友達やグループの良いところを発表することができるようにする。
- ・「発表タイム」の見せ合う場面では、兄弟グループの4人対4人だけで見せ合うことで、発表のプレッシャーを軽減し、表したいイメージを自由に表現できるようにする。
- ・「発表タイム」の見せ合いが終わった後、一人一人が良かったところを発表することにより、友達やグループの発想や動きの面白さや良さを認め合うことができるようにする。
- ・毎時間学習カードに本時の振り返りや動きの良かった友達を記入し、それを数名発表してもらうことにより、学級全体で動きの工夫を確認したり、動きの良さを認め合ったりすることができるようにする。

VI 指導計画（全4時間計画、本時は3／4）

主な学習活動	時間	評価項目【観点】（評価方法）
○オリエンテーション ・学習課題や進め方、学習の約束を理解する。 ・「ほくほくタイム」では、リズムダンスや“もうじゅうがり”や“だるまさんがころんだ”などのゲームをして心と体をほぐす。 ・「一緒にタイム」では、教師や友達の真似をして、新聞紙、動物や乗り物、スポーツなど色々なものに	1	・学習課題や学習の進め方、学習の約束を理解し、安全に気を配りながら表現に進んで取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】（観察） ・色々なものをイメージしながら、そのものになりきって体を動かそうとして

なり切って表現する。 ・「発表タイム」では、「一緒にタイム」で特徴的に表現できた児童を紹介する。		いる。 【学びに向かう力、人間性等】（観察）
○様々なスポーツになりきって、即興的に表現する。 ・「ほくほくタイム」ではリズムダンスや“だるまさんがころんだ”などのゲームをして心と体をほぐす。 ・「一緒にタイム」では、スポーツからイメージすることを出し合い、教師や友達と一緒に特徴的な場面や動きを選んで即興的に表現する。 ・「協力タイム」では、グループでスポーツを一つ選び、それぞれ役割を決めて、即興的に表現する。 ・「発表タイム」では、兄弟グループで見せ合い、良い動きを伝え合う。	2	・友達の考えや動きを認めながら、進んで取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】（観察） ・スポーツの特徴を捉えながら即興的に表現することができる。 【知識及び技能】（観察）
○スポーツの一番伝えたい場面を強調して表現する。 ・「ほくほくタイム」ではリズムダンスや“だるまさんがころんだ”などのゲームをして心と体をほぐす。 ・「一緒にタイム」では、動き速度の変化や繰り返しの動きを取り入れながら、教師や友達と即興的に表現する。 ・「協力タイム」では、グループで一番伝えたいスポーツの場面を決め、その場面を強調するように動きの工夫を取り入れながら表現する。 ・「発表タイム」では、兄弟グループで見せ合い、良い動きを伝え合う。	③ 本 時	・自分やグループの課題に応じた動きの工夫を選ぶことができる。 【思考力、判断力、表現力等】（観察・学習カード） ・動きの速度の変化や繰り返しの動きを取り入れ、スポーツの伝えたい場面を強調して表現している。 【知識及び技能】（観察）
○スポーツニュース発表会を行う。 ・「ほくほくタイム」ではリズムダンスや“だるまさんがころんだ”などのゲームをして心と体をほぐす。 ・「一緒にタイム」では、前時の発表を“なか”として、教師と一緒に“はじめ”と“おわり”を考え、動いてみる。 ・「協力タイム」では、前時の発表を“なか”として、“はじめ”と“おわり”の動きを付けたし、ひとまとまりの動き（スポーツニュース）を作る。 ・「発表タイム」では、学級全体で見せ合い、良い動きを伝え合う。	4	・「はじめーなかーおわり」の構成を工夫して、ひとまとまりの動きで表現することができる。 【知識及び技能】（観察） ・友達の動きの良くなったところを伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】（観察・学習カード）

VII 本時の学習活動（本時は3／4）

1 ねらい

スポーツニュースをイメージしながら、動きの速度の変化や繰り返しの動きなどの工夫を取り入れ、友達と一緒に踊ることを通して、スポーツの一番伝えたい場面を強調して表現することができる。

2 準備・資料

教師：ピンマイク・ホワイトボード・画用紙・マーカー・CD・CDプレーヤー・タブレット・イメージマップ

児童：学習カード・探検バック・筆記用具

3 本時の展開

学習活動	時間	指導上の留意点・支援 評価項目
1 「ほくほくタイム」 ○ウォーミングアップをする。 ・リズムダンスをする。 ・「だるまさんがころんだ」	7	・リズムに乗って楽しく体操したり、踊ったりすることで、心身を解放できるようにする。 ・「だるまさんが〇〇した」の〇〇の中に、スポーツや動きの速度を表す言葉を入れながら行うことにより、本時の主運動につながる動きを楽しみながら引き出せるようにする。
2 本時のめあてをつかむ。	13	・表現の約束事を全体で確認する。 動きを工夫して、一番伝えたいことが分かるスポーツ番組を作ろう！
・実際のスポーツ番組を観て、動きの工夫を知る。 3 「一緒にタイム」 ○動きの工夫を取り入れ、色々なスポーツを表現する。 (1) 先生と一緒に動く。 (2) グループでリーダーの動きの真似をして動く。		・実際のスポーツ番組を観ることで、イメージを膨らませながら動きの工夫（スローモーション・巻き戻し・繰り返し）を理解することができるようにする。 ・最初は教師が決めた動きを全員で一斉に行う。その際に、教師が率先して動いたり、特徴的な場面を次々と声を掛けたりすることで、具体的なイメージをもって動けることができるようにする。 ・動きに慣れてきたら、動きの工夫を色々取り入れた声掛けをしたり、特徴的な動きをしている児童を取り上げて見本を見せたりすることにより、動きの工夫の意識を高めることができるようにする。 ・友達の良さに気付きながら動くことができるように、4・5人組を作り、リーダーに続けを行うようにする。その時に順番とスポーツを確認し、30秒程度を目安に次のリーダーに行くように声掛けを行う。 ・意図的に声を掛けたり、リモコンを操作したりしながら、動きの工夫を取り入れたりすることができるようにする。 ・中々スムーズに動けないリーダーには、スポーツの特徴的な動きや動きの工夫の声掛けを具体的にを行うようにする。

4 「協力タイム」 ○グループで一番伝えたいスポーツの場面を決め、動きを工夫する。	12	・グループで相談して、表現したいスポーツと一番伝えたい場面を決めるように声を掛ける。また、はじめのポーズを決め、終わりは3秒止まり、一分程度の作品になるように伝える。 ・中々決めることができないグループは「一緒にタイム」で行った動きの中から良かったものから選ぶよう助言する。 ・「一番伝えたい場面はどこか。」「それを大げさに表現するにはどのように動けば良いか。」などと声を掛け、動きの工夫（動きの速度の変化や繰り返しの動き）を取り入れる意識付けを行う。 ・動きの工夫を取り入れたり、大げさに動いていたたり、特徴的な動きをしていたりするグループを称賛し、学級全体に紹介することで、多様な動きを取り入れることができるようにする。 【知識及び技能】動きの速度の変化や繰り返しの動きを取り入れ、スポーツの伝えたい場面を強調して表現している。(観察)
5 「発表タイム」 ○兄弟グループでお互いの表現を見せ合う。 (1) 兄弟グループで表現を見せ合う。 (2) お互いのグループの良かったところを一人一人発表する。	8	・発表のプレッシャーを感じにくくするように、兄弟グループで見せ合うように場を設定する。 ・次時の学習活動に生かすことができるように、グループの動きをタブレットを用いて記録をしておく。 ・動きの工夫を良かった理由として発表できるように、見る観点（動きの速度の変化や繰り返しの動き）を全体で確認する。 ・温かい雰囲気を作ることができるように、見ているときには応援の声をかけたり、発表後拍手をしたりするよう促す。 ・お互いのグループの発表後、兄弟グループの良かったところを一人一人発表する。
6. 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。	5	・本時の学習を振り返ることができるように、動きの工夫とその効果を全体で確認する。 ・学習カードに振り返りを行い、感想と本日のMVPを数名発表させることにより、学習意欲を高めることができるようにする。 ・今回の動きをもとに、次回はじめと終わりと付け足し、発表会を行うことを伝えることで、次時の見通しをもたせる。

【板書計画】

今日のめあて 動きを工夫して、一番伝えたいことが分かるスポーツ番組の一コマを作ろう！



- ・スローモーション
- ・巻き戻し
- ・繰り返し



(何のスポーツの)
(どのような場面か)



～表現四か条～

- ①笑顔を大切に！
- ②イメージを大切に、そのものになりきろう！
- ③大げさに、体を全部使って動かそう！
- ④友達とお互いの良さを認め合おう！

(模造紙を貼る)

スポーツの
イメージマップ